

令和7年度  
学校評価報告書



綾瀬市立城山中学校

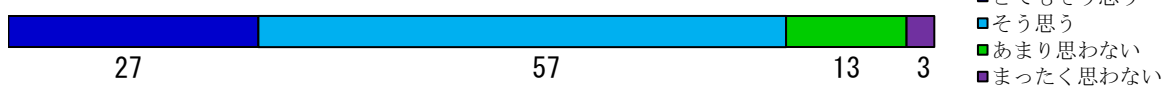
## 1 学校は、「意欲を持って学習する人」を育てるために、工夫や改善に取り組んでいる。

### 学校の取組

本校では、今年度より校内研究のテーマを「生涯に渡って能動的に学び続けることができる生徒の育成～生徒が自ら学習したいと思える授業づくり～」とし、また生徒が主体的・対話的で深い学びができる授業づくりをめざし、日々の授業改善に努めています。数学と英語の授業では少人数指導を継続して行い、指導の個別最適化を図っています。さらには、定期テスト前には「学習会」を実施し、生徒が家庭でも意欲を持って学習に取り組めるようサポートしています。

生徒：あなたは、毎日の授業に意欲的に取り組んでいますか。

回答数 457



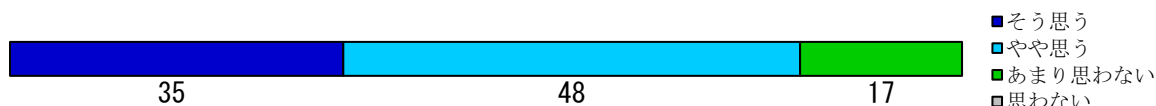
保護者：お子さんは、毎日の授業に意欲的に取り組んでいると思いますか。

回答数 327



教職員：生徒は授業に集中し、意欲的に取り組んでいますか。

回答数 29



### 今後に向けて

今年度は、生徒、教職員が8割以上、保護者の約7割5分から「授業に意欲的に取り組んでいる」と評価を得ました。しかし、生徒・教職員の約2割、保護者の約2割5分となる「授業に意欲的に取り組んでいない」という回答を注視しなければなりません。教職員がさらに、授業改善への意識を高め、生徒が主体的・対話的で深い学びができる授業づくりを目指し、確かな学力の向上に努めていきます。

## 2 生徒は、学校行事や生徒会活動・部活動に積極的に参加している。

### 学校の取組

本校では、生徒による主体的な活動を大切にしたい取組が行えるよう、各学校行事で実行委員会を組織し、中央委員や体育祭実行委員、合唱祭実行委員などを設けています。また、定期的に専門委員会を実施し、生徒が主体的且つ、充実した学校行事が実施できるよう、事前の準備などを念入りに行い、当日を迎えました。

生徒：あなたは、学校行事（体育祭・合唱祭・修学旅行などの校外活動など）や生徒会活動・部活動に積極的に参加していましたか。

回答数 457



保護者：お子さんは、学校行事（体育祭・合唱祭・旅行的行事等）や生徒会活動・部活動に積極的に参加していると思いますか。

回答数 326



### 今後に向けて

今年度も生徒・保護者ともに「とてもそう思う・そう思う」が9割を超える評価を得ました。とくに合唱祭では、昨年度の3学年の学年合唱の実施に加え、今年度より2学年の学年合唱も復活し、生徒自身の学校行事への取組に対する充実感が現れたと捉えます。また、綾瀬市全体で熱中症による影響などの生徒の健康面・安全面を第一に考え、体育祭と合唱祭の時期を入れ替えて実施しました。今後も生徒が主体となり「生きる力を育むこと」を目指した学校行事や生徒会活動、部活動を実施していきます。

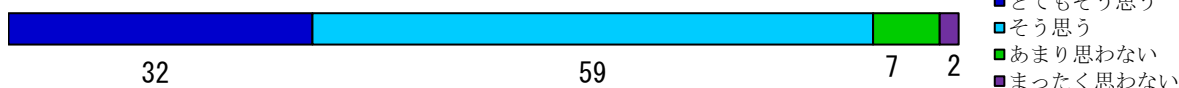
### 3 学校は、「共に生きる人」を育てる指導を積極的に行っている。

#### 学校の取組

今年度も学校教育目標のめざす生徒像のひとつに「共に生きる人」を掲げ、自分と他人との違いを認めつつ、自分の思いや考えを積極的に伝え、仲間と共に高め合おうとする生徒の育成を目標に、様々な教育活動に取り組んでいます。今年度も体育祭での異学年交流や、人権に関する講演会を全学年で実施するなど、学校全体で「共に生きる人」を目指す取組を行いました。

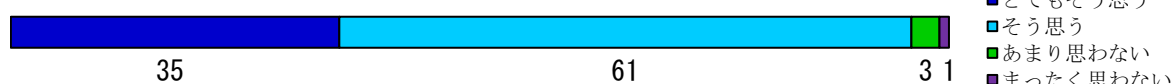
生徒：あなたは、まわりの人に対してやさしく接していますか。

回答数 457



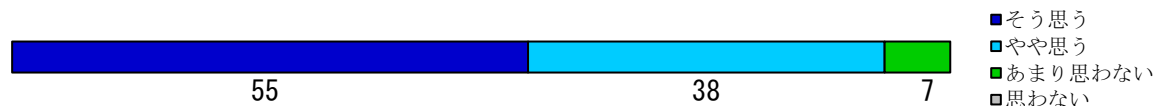
保護者：お子さんは、友人に対してやさしく接していると思いますか。

回答数 326



教職員：生徒間の人間関係が良好になるよう努めていますか。

回答数 29



#### 今後に向けて

集計結果から、今年度も生徒、保護者ともに「人に対してやさしく接していると思う」という評価が9割を超えました。しかし「そう思っていない」と回答する生徒も1割いることから、今後も学校全体が「やさしさ」で溢れるよう、掲示物の工夫、ソーシャルスキルトレーニングや道徳教育の充実、さらに効果的に協働的な学習を取り入れるなど、様々な取組を実践していきます。

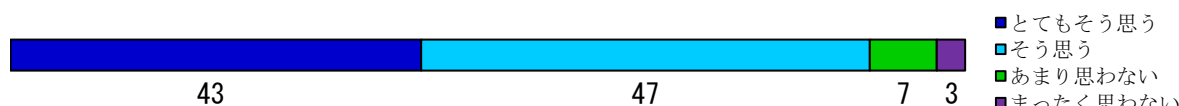
### 4 生徒は、友人や先生との学校生活に満足している。

#### 学校の取組

学校生活のふりかえりとして、学校生活に関するアンケートを毎月実施するとともに、1学期と2学期に担任との生活相談の機会を設けています。教職員全員は生徒とのコミュニケーションを日頃から大切にし、生徒のわずかな変化を見逃さないことを意識し、生徒との関係を深め、よりよい学校生活が送れるよう取り組んでいます。

生徒：あなたは、毎日の学校生活を楽しく送っていますか。

回答数 458



#### 今後に向けて

9割の生徒が肯定的な回答をしています。しかし、1割の生徒は「学校生活を楽しく送っていない」と感じており、月末にスクールアンケートを活用し、生徒からの小さな情報にも聞き取りを行うなど未然に察知できるよう努めます。また、特活などにおいてソーシャルスキルトレーニングやグループエンカウンターなどの人間関係づくりも実施し、生徒が楽しみながら人間関係を広げられるよう指導を行っていきます。さらに、スクールカウンセラーとの連携を密にし、生徒の不安の解消や緩和だけでなく、全生徒が安心して学校生活を送れるよう努めます。

5 学校は、いじめの早期発見・再発防止のための取組を行っている。

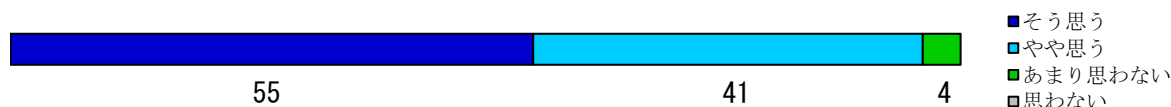
学校の取組

毎月、学校生活に関するアンケートを実施し、生徒の小さな変化を見逃さないよう聞き取りをしています。また日頃から生徒の行動を観察し、必要に応じて呼びかけなどを行い、いじめの早期発見・再発防止に努めています。予防的生徒指導の観点から、全ての教職員、生徒の人権感覚が高まるよう、情報モラル教育や人権教育を特別活動で行うとともに、生徒の発達段階に応じて外部機関から講師を招いた研修や授業も行っています。

保護者：学校は、いじめの早期発見・再発防止のための取組を行っていると思いますか。 回答数 321



教職員：いじめの早期発見・再発防止に努めていますか。 回答数 29



今後に向けて

保護者の回答について、肯定的な回答は7割以上あるものの、肯定的でない回答も全体の約4分の1ありました。いじめの早期発見・再発防止のため、予防的生徒指導のさらなる工夫を検討します。今後も、迅速且つ適切な指導を実践するとともに、人権教育を更に充実するなど、すべての生徒が学校生活を安全・安心に送れるよう、学校全体で取り組んでいきます。

6 学校は、「健康な心と身体を育む」指導に積極的に取り組んでいる。

学校の取組

食育指導として、栄養技師の方を講師に迎え、各学年の発達段階や社会の状況を踏まえた内容で食育講演会を実施しました。また、保健指導においても、厚木大和保健福祉事務所の保健師の方を招き、「思春期の心とからだについて」や「性の多様性について」などの講演を行いました。道徳教育では、生徒が教材をとおして他者の意見を聴きながら考えを深め、自分自身を振り返ることができるように教職員で研修や研究を継続して行っています。

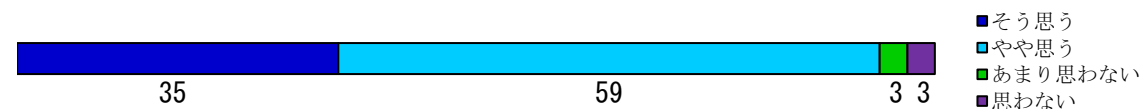
生徒：あなたは、自分の健康や体力に関心を持って生活していますか。 回答数 457



保護者：お子さんは、健康や体力に関心を持っていると思いますか。 回答数 327



教職員：生徒の心と体の健康に留意した教育活動を行っていますか。 回答数 29



今後に向けて

昨年度同様に、生徒、保護者ともに健康や体力に関心をもって生活していると感じていることがわかります。また、教職員も生徒の心と体の健康に留意した教育活動を行っています。今後も学校では、生徒が正しい知識を身につけられるように、食育・保健教育を行うだけでなく、専門の講師の方による講演会等を実施していきます。また、生徒が自身の健康や体力に関して高い関心を持ち続けられるように、家庭と連携しながら心と体の健康についての教育に取り組んでいきます。

## 7 学校は、生徒の安全のための指導や施設の点検・整備に取り組んでいる。

### 学校の取組

今年度は4月（地震避難訓練）、9月（火災避難訓練）、1月（学年ごとの防災訓練）を実施しました。防災訓練では、消火器による消火活動体験（1学年）や、火災の煙体験（2学年）を行いました。また、3学年は日頃から携帯できる防災グッズには何があったらよいかを確認しながら、各自で防災セットを作成しました。施設の点検や整備については、日常的に不審物の点検を含めて各学年で見回りを行っている他、各学期ごとに教職員全員で安全点検を実施しています。

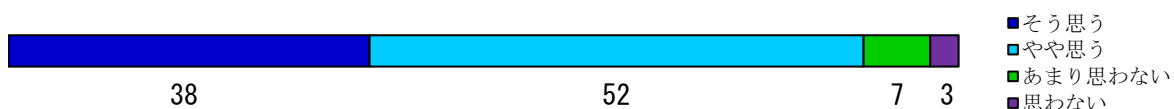
教職員：生徒が安全な生活を送るための指導を行っていますか。

回答数 29



教職員：教室整備や施設の点検・整備に努めていますか。

回答数 29



### 今後に向けて

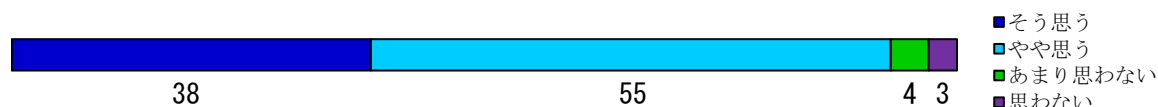
施設の点検を含めて、教職員は日頃から各学年ごとに授業前の見回りを実施しています。今後も、日常的に不審物等がないかや施設に修繕が必要な箇所がないか等を確認していきます。また、災害に関する学習については、身を守るためにどうしたらよいかを考え、実践できるような学習となるように工夫します。さらに、生徒の安全のために、避難訓練がより実践的な訓練となるように見直しを行いながら実施していきます。

## 8 学校は、生徒に応じた支援の工夫をしている。

### 学校の取組

生活相談や毎月の学校生活に関するアンケートを実施することで、気になることがあれば教職員から声をかけ、聞き取りをし、生徒が相談しやすい環境づくりに努めています。支援を必要とする生徒に対しては、教育相談コーディネーターを交えて保護者と連携し、ケースによっては関係機関との連携や学習支援室の利用につなげるなど、個別最適な支援を行っています。

教職員：一人ひとりの生徒に応じた適切な支援体制づくりに努めていますか。 回答数 29



### 今後に向けて

教職員の支援体制づくりに対する意識の高さが結果に表れています。今後も、さまざまな場面での情報共有を密にし、適切な支援ができるよう、工夫をしていきます。また、指導の統一を図り、差異のない指導を意識します。その上で、生徒がよりよい学校生活を送れるよう、教職員と生徒との信頼関係づくりに努めます。今後、さらに生徒理解を一層深め、生徒一人ひとりを尊重した支援体制を整えていきたいと思えます。

9 校長を中心とした運営組織になっている。

学校の取組

本校では、校長・教頭のリーダーシップのもと、総括教諭をグループリーダーとして教育計画・校外連携・生き方指導・適応支援・生徒活動支援の5つのグループに教職員が分かれ、学校教育目標達成をめざして、様々な職務や課題に取り組んでいます。また毎月定例でグループ会議、企画会議を行い、円滑な学校運営に努めました。今年度は、各グループ総括教諭の入れ替えも行い、新たな視点で各グループの課題に取り組んだ1年でもありました。

教職員：グループにおける職務を円滑に遂行していますか。

回答数 29



今後に向けて

集計結果から、9割以上の教職員が肯定的な回答をしています。このことは、校長の学校経営方針のもと、各グループが総括教諭を中心に円滑な活動を行ってきたことのあらわれだと考えられます。来年度も凡事徹底を意識し、「チーム城山中学校」として職務にあたりたいと考えます。

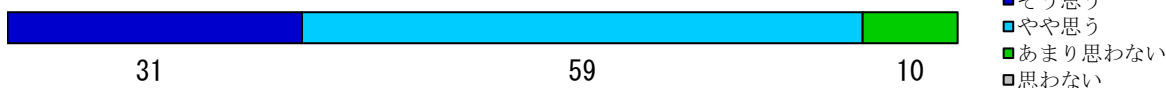
10 学校は、教職員の力量を高めるための取組に力を入れている。

学校の取組

今年度は校内研究のテーマを「生涯に渡って能動的に学び続けることができる生徒の育成～生徒が自ら学習したいと思える授業づくり～」と設定しました。昨年度の反省を生かし、教職員の知識を深めるための研修や、チーム別の公開授業を行いました。公開授業に向けて複数回の分科会を設定することで、公開授業の計画と準備をするだけでなく、普段の授業で生かせるノウハウの情報共有ができました。

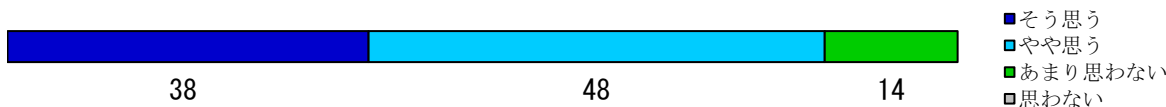
教職員：指導力向上に向けた校内研究に積極的に取り組んでいますか。

回答数 29



教職員：教師の力量を高めるための校内研修に積極的に取り組んでいますか。

回答数 29



今後に向けて

チーム別で授業研究を行うことで、その過程をとおして公開授業の担当だけでなく、職員全体の授業改善につながりました。今年度の取組の中で授業改善に向けた様々な実践をすることができたので、有効なものを精選して継続していきます。一方で、昨年度よりも校内研究に積極的に取り組めていないと感じている職員がアンケートの結果から増えています。公開授業を行うにあたって、授業者以外も関わりやすいような体制づくりが今後の課題となります。

## 11 学校は、生徒の実態を把握し、よりよい生徒の成長のための工夫をしている。

### 学校の取組

日常の生徒との関わりや月末に行う学校生活に関するアンケートなどとおし、生徒の実態を把握するよう努めています。また、生徒一人ひとりの変化や悩み、問題などを敏感に感じとり、現状を教員間で共有し、生徒一人ひとりの学校生活が充実したものとなるよう心がけています。本校の教育目標である「自立する生徒」の育成をめざし、授業や学校行事、部活動などとおし、学校生活全般にわたって生徒の主体的な活動となるよう支援しています。

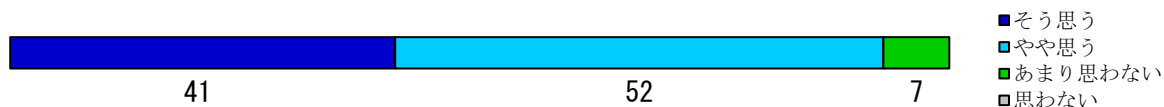
保護者：学校は、教育目標である「自立する生徒」を育てるための指導の工夫をしていると思いますか。

回答数 323



教職員：学校教育目標を意識した教育活動を行っていますか。

回答数 29



### 今後に向けて

アンケート結果から、昨年度と比べ、保護者の「とてもそう思う・そう思う」が共に増加しました。しかし、保護者の「あまり思わない」と感じている回答も2割弱ある現状に目を向けなければなりません。今後も学校教育目標である「自立する生徒」の育成に向け、生徒が一人ひとりが主体的な活動を行えるように支援を行うとともに、校内研究の推進や、教職員間・家庭との連携を密にするなど、学校全体で取り組んでいきます。

## 12 学校は、保護者などに適切な情報を提供し、連携を図る取組を行っている。

### 学校の取組

本校では、定期的に「学校だより」「学年だより」を発行しています。また、3学年では「進路だより」を発行しています。「学校だより」と「進路だより」はデジタル連絡ツール（C4th）も活用し、保護者が情報を得やすい環境を整えています。さらに、家庭訪問や毎学期の懇談会の実施、授業参観や授業参観週間の設定など、保護者に適切な情報を提供するよう努めています。

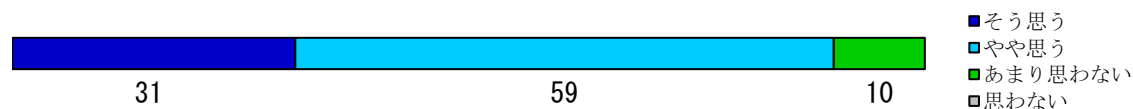
保護者：学校の情報が保護者にわかりやすく伝えられていると思いますか。

回答数 327



教職員：学校の情報を保護者に伝え、協力や理解を得るための工夫をしていますか。

回答数 29



### 今後に向けて

保護者からの肯定的な回答が、昨年度に比べて増加し、8割近くを得ています。これは、デジタル連絡ツール（C4th）に加え、学校と家庭が情報共有に努めた成果であると考えられます。しかし、一方で2割程度の家庭が「あまり思わない・思わない」に回答し、教職員の「そう思う」の回答が昨年度より減っていることに課題を感じています。今後も、教職員からのアイデアや意見を募りながら、デジタル連絡ツールのさらなる活用方法を検討します。また懇談会、保護者面談などとおして、学校と家庭との情報共有や連携をさらに充実させていく必要があります。